



大学病院の使命を実現する シンクタンク

財政や政策をはじめとした医療を取り巻く環境の変化とともに、医療への国民の期待はますます多様化している。病院運営企画室は、経営基盤の安定を通じて大学病院としてより高度な医療・医学研究・医学教育の実現をめざす院内シンクタンクの役割を担っている。

業務内容の特徴と実績

副院長（経営担当）を含む教員および経営管理課・医務課・新病院整備推進室事務職員で構成する、常設の病院長諮問機関である。週一回の定例会議を中心に、総合的な病院機能の向上に寄与する計画を策定している。

①近年、大学病院に求められる役割は多様化している。「高度急性期医療の推進」と「高度先進医療」を両立させつつ、新規医療の開発や再生医療への貢献など研究病院としての役割、医療人や研究者の育成といった教育病院としての役割、地域や社会への貢献、国際化への対応などの役割を果たしていかなければならない。これらの山積する課題の解決へ向け、中長期的な視点に立って将来の京大病院のあるべき姿の検討をすすめている。

②財務分析および業務・市場分析に基づく各種の経営に関する予測を行っている。これらに基づき、病院長の諮問による経営計画を立案するとともに、分析および予測に必要な調査・研究も行っている。各種経営管理指標の調査・設定・分析を行い、これらに基づく病院経営に関する企画立案をしている。

③ベッドコントロールセンターと連携し、病床稼働率向上に向けた方策について検討をおこなっている。

④診療科（部）別運営カンファレンスを企画・管理し、病院執行部からの要請を各部局に伝え、各部局のニーズを汲み、病院執行部などに伝える役割を担っている。平成26年度は、32の診療科と35の診療部門等あわせて67の診療科・診療部門に対してカンファレンスを実施し、意見交換を行った。

